

今後の総合評価落札方式のあり方(参考資料)

今後の総合評価落札方式のあり方

- ・技術評価点の加算点の評価項目は、①技術提案、②企業の能力等、③技術者の能力等とし、加算点合計及びその内訳は、「配点割合」の通りとする。
- ・このうち、②企業の能力等と③技術者の能力等の配点割合は同じとする。
- ・地域精通度・貢献度等については、②企業の能力等の中で評価し、配点は10点を上限とする。

<配点割合>

施工能力評価型

総合評価対象 40(30)		
段階選抜対象 40(30)		
施工計画※	企業の能力等※ 20(15)	技術者の能力等 20(15)

- ※ 施工計画は、可か不可のみを評価する。
- ※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。
- ※ 「地域精通度・貢献度等」の評価は「企業の能力等」の中で必要に応じて設定する。

技術提案
評価型(S型)

総合評価対象60(50)		
段階選抜対象 30(20/30)		
技術提案※ 30(20/30)	企業の能力等※ 15(10/15)	技術者の能力等 15(10/15)

- ※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。
- ※ 「地域精通度・貢献度等」の評価は「企業の能力等」の中で必要に応じて設定する。(WTO対象の場合設定しない。)
- ※ WTO対象の場合、企業の能力等及び技術者の能力等は段階選抜での評価のみに利用し、総合評価では評価しない。なお、WTOの配点は別途設定する。

技術提案
評価型(A型)

総合評価対象70(50)		段階選抜対象 40/60	
技術提案 70(50)	簡易な技術提案※ 20	企業の能力等 20	技術者の能力等 20

- ※ 簡易な技術提案は段階選抜で必要に応じて評価
- ※ 施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

今後の総合評価落札方式のあり方

評価項目の配点の状況

- 「企業」と「技術者」の配点は、本省ガイドラインと関東地方整備局(標準タイプ・地域密着型)ともに同等となっている
- 「実績」と「成績」の配点は、本省ガイドラインと関東地方整備局(標準タイプ)で同等となっている

〔評価項目と配点(本省ガイドライン・関東地方整備局ガイドライン)〕

評価項目			本省ガイドライン	関東地方整備局	
				標準タイプ	地域密着型
企業の能力等	企業の施工能力	同種工事の施工実績	8	6	
		工事成績	8	6	4
		表彰	4	3	3
		難工事施工実績・功労表彰		2	2
		その他(自由設定項目)		3	3
	地域精通度・貢献度	地理的条件、災害協定の有無・協定に基づく活動実績 等			8
技術者の能力等		同種工事の施工実績	8	6	6
		工事成績	8	6	6
		表彰	4	4	4
		難工事施工実績・功労表彰		2	2
		その他(自由設定項目)		2	2
計			40	40	40

今後の総合評価落札方式のあり方

【参考】各地方整備局等における配点状況

施工能力評価型

	企業 成績 (8点)	技術者 成績 (8点)	企業 実績 (8点)	技術者 実績 (8点)	企業 表彰 (4点)	技術者 表彰 (4点)		
本省ガイドライン	20%	20%	20%	20%	10%	10%		
全地整平均	13%	19%	10%	17%	6%	8%	企業 精進度等 21%	技術者 CPD等 5%
81北海道	13%	20%	13%	18%	8%	8%	18%	5%
82東北	13%	18%	10%	18%	5%	10%	23%	5%
83関東	15%	15%	15%	15%	8%	10%	13%	10%
84北陸	13%	20%	13%	20%	5%	8%	20%	3%
85中部	15%	19%	15%	19%	8%	10%	13%	2%
86近畿	8%	15%	5%	10%	5%	10%	33%	15%
87中国	13%	20%	10%	20%	8%	8%	20%	3%
88四国	26%	26%	9%	9%	4%	4%	17%	4%
89九州	10%	15%	5%	23%	5%	8%	30%	5%
90沖縄	10%	20%	10%	20%	5%	8%	25%	3%

注1)各整備局における実施方針に基づき整理 注2)四国地整は一位満点方式を採用しているが必須項目の素点を加算点満点で案分して算出

注3)北陸地整は施工計画の配点10点を除いて配点割合を算出

注4)「企業 精進度等」の例: NETIS登録技術活用(新技術活用)、情報化施工技術活用、本支店、営業所の所在地、災害活動等の実績 など

注5)「技術者 CPD等」の例: 主任(監理)技術者資格、CPDへの取り組み など

今後の総合評価落札方式のあり方

<参考> 工事成績の評価基準

- 本省ガイドラインにおける成績の評価基準は、4段階となっている
- 各地方整備局における成績の評価基準は、4段階～21段階と整備局間ではばらつきがみられる

工事成績	頻度分布 (H25完成)		本省		整備局1		整備局2		整備局3		整備局4		整備局5		整備局6		整備局7		整備局8		整備局9		整備局10			
			企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者	企業	技術者
			4段階		5段階		7段階		4段階		8段階		9段階		7段階		7段階		21段階		7段階		7段階		11段階	
85点以上	0.3%	14.3%	得点率100%																							
84	0.4%																									
83	1.1%																									
82	2.4%																									
81	3.7%																									
80	6.5%																									
79	11.1%	71.2%																								
78	14.8%																									
77	19.0%																									
76	15.9%																									
75	10.3%																									
74	5.9%	13.1%																								
73	3.2%																									
72	1.9%																									
71	1.1%																									
70	1.0%	1.2%																								
69	0.4%																									
68	0.3%																									
67	0.2%																									
66	0.2%	0.2%	得点率0%																							
65	0.2%																									
65点未満	0.2%																									

今後の総合評価落札方式のあり方

<参考> 工事成績の評価基準

- 工事成績点の平均点は、整備局間のばらつきは小さい
- 工事成績点の分布状況は、整備局間で若干のばらつきがある

